



TCA ニュース

= 2009年 8月発行 = 【No. 228】

発行 東京サイクリング協会 広報委員会

<http://tokyo-cycling.web.infoseek.co.jp> 〒104-0061 中央区銀座7-15-11 Tel・Fax 03-3541-6540

サイクリストの五楽 輪楽・自転車を楽しむ 行楽・旅を楽しむ 道楽・道を楽しむ 友楽・友と楽しむ 遊楽・遊びを楽しむ



タンデムを楽しむ集い & 自転車をもっと好きになる講習会 「タンデムパイロット講習」

TCAは、都盲協と一緒に平成3年4月から「タンデムを楽しむ集い」を開催しております。今年度から回数を1回増して年間5回の開催を計画して、4回目の「タンデムを楽しむ集い」を8月30日(日)に行います。

今回は、以下に示すようにタンデムパイロット講習を兼ねて実施します。

JCAでは、今年度から3年度の予定で「タンデム用自転車の普及に関する調査研究事業」を実施し、タンデム自転車の安全活用と全国走行解禁を目指しています。

この中でライセンスのような形でパイロットとしての資質の確認を打ち出そうとして講習カリキュラムの設定を始めています。

この機会に、改めてタンデムについての現状を整理しながら、新たなパイロットの要請を目指してTCAとして「タンデムパイロット講習」を試行します。

参加希望の方は、事務局まで連絡ください。

- 日 時：2009年8月30日(日) 9時30～14時(予定)
- 場 所：神宮外苑サイクリングセンター 9:30～12:00
サイクルスクエア北参道 12:00～14:00
- 内 容：午前中は都盲協との定例の「タンデムの集い」を実施しながら実地講習を行い、先月オープンしたサイクルスクエア北参道へ移動して昼食の後、座学講習を行います。また、今年度購入した20インチの折りたたみタンデム(GMC)の公開と試乗もを行います。

事務局からのお知らせ

東京シティサイクリングスタッフ協力要請

2009東京シティサイクリングは、9月20日(日)の実施で、現在募集受付がされています。

先月、7月20日(祝)には今年度のコースの試走を目的としたフリーランを実施しました。

例年通り、TCAが特別協力としてコース誘導スタッフを派遣しますので、スタッフとしてご協力をお願いします。今年は、例年より多数のスタッフを確保したいと思います。ご協力いただける方は事務局まで申し出てください。

なお、下記の要領でTCAスタッフの打合せ会を開催します。出席できる方は、事務局へ連絡ください。

- 日 時：2009年9月9日(水) 19:00～20:30
- 場 所：文京区民センター3C会議室

【7月末現在 会員数380名】



初めてT C A主催の行事に参加して

立川バンクトライアルに感動!

T C A会員 鈴木 邦明

私は、昨年3月に定年退職し、4月にサイクリング協会に加入しました。自転車歴はまだ2年です。正直、自転車保険に入るつもりで入会しましたので、昨年度は「T C Aニュース」を見させていただきながら、“いろんなことをやっているのだな”くらいの気持ちでした。行事等も区内が多いので八王子からは、ちょっと参加しにくいなと思っていました。

そんな時、T C Aニュースの中に、立川競輪場で、それもピスト自転車に乗せてもらえるとの誘惑と魅力に誘われ、思い切って事務局へ参加申込みの電話をしてみました。電話した後、ちょっと後悔と不安になりましたが、当日、八王子からロードレーサーに乗り、立川競輪場にいったら、内田様をはじめ理事の皆様方に温かく迎えていただき、ほっとしました。

受付を済まし、老若男女20名ほどが参加しました。しばらく待ってから、競輪場内に入り、事務局長の挨拶等を受け、いよいよバンク内に入りました。

早速、バンク内で競輪場の大宮先生からピストの特徴、乗り方の説明を受け、こわごととピストにまたがってみる。そして、ペダルに足をかけて、初めてピストという自転車の怖さ(凄さ)を実感する。そして、ペダルを漕ぎ出してみ、身体に震えがきた。



これが、うわさのノーブレーキ、ノーギア(ワンギア)か!

まさに乗ってみて、ペダルを踏んでみて、初めてわかるこの快感! 本当に感動する。

慣らし走行が終わり、少し休憩してから、いよいよ、本番の「立川バンクピストトライアル」が始まる。本当にバンクの上を走れるのだろうか、ともたも不安と、期待に心が揺れる。

1,000m走(バンク2周半)である。13人がエントリーし、私は5番目走行となる。覚悟を決めてスタートラインに着く。自転車を後ろで支えて貰い、トークリップに足を入れバンドを締めペダルに足を固定し、いよいよスタートである。

最初は立ちこぎで踏み出し、コーナーで徐々に加速し、メインスタンド前で最速にし、次のコーナーに入ってから踏み込み、バックスタンドで加速するようにした。もちろん、こわくてバンクの上は走れず、80%ぐらいの踏み込みしかできなかったが、でも、とても気持ちよく走れ、気分爽快でした。

その中で、身体に残っているのは、コーナーを回るとき、バンクではハンドルを切らなくても、まっすぐ漕げば、自然とコーナーを曲って行くことの驚きと、ピストの加速するスピード感で、まさに自分の身体と自転車の一体感を感じ、ごまかしの効かない自分の実力(脚力)がそのまま走りに現れる凄さであった。

私の記録は、1分38秒台で、ほぼ中ほどの成績とのことで満足する。速い方は、さすがに1分23,24秒台であった。

初めてのピスト体験は、本当にすばらしかった。実際に乗ってみて、競輪という競技は、まさに格闘技であり、闘争心をかき立てる、すごい競技だと改めて実感した。

その後に、3本ローラー台を少し経験させてもらいました。私は、残念ながら、こわさと不安でバランスがとれず、うまく乗れませんでした。最後に、ピストを車庫にしまってから、スタンドに集まり記録証の交付と終了の挨拶、事務連絡事項を受けた後、解散となる。

今回、この立川競輪場『バンクを走る』に参加させていただき、本当によかったです。

60過ぎのおじさんでも、皆さんと一緒に多少は走れた実感をもてたことは、これからの自転車生活を送っていくうえで、ちょっと自信となりました。これも、東京サイクリング協会の役員皆様方のご尽力の賜物と感謝いたします。これで、つたない私の体験談とさせていただきます。有難うございました。